

科目名	老年看護学特論 Theories of Gerontological Nursing		担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次前期	科目区分	支持科目	選択区分	領域必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										遠隔授業	否
科目目的	国際的な視点に立って高齢化の現状を分析し、今後の課題や求められる老年看護の専門性を探究する。また、老化・加齢に関する理論や、保健医療福祉制度、高齢者の日常生活への影響、家族看護や倫理的課題などについて理解を深め高齢者の特性を探究するとともに、老年看護を専門として活動していくための理論的基盤を養う。										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年看護学の変遷と、高齢社会の現状について説明できる。 2. 老化・加齢に関する理論の特徴について説明できる。 3. 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度と倫理的課題について説明できる。 4. 高齢者のニードと、生活における特徴について説明できる。 5. 高齢者と家族に必要な看護について考え、老年看護の専門性について自己の見解を述べるができる。 										
成績評価方法(基準)	プレゼンテーション40%、レポート40%、講義に取り組む姿勢20%										
教科書	特に指定しません。										
参考書等	Ebersole P., Hess P. et al (2015): Toward Healthy Aging: Human needs & nursing response. 9th ed, Mosby.										
受講者へのメッセージ	主体的・積極的に参加することを期待します。										
備考											
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法	
1回	老年看護学の変遷				老年看護学がどのように変遷してきたか、また老年看護学の考え方の特徴を再確認する。				小松	講義	
2回	国際的な高齢社会の現状と展望				日本及び世界の高齢化の動向を確認し、高齢化に対する諸外国の取り組みや今後の課題について学ぶ。				小松	講義	
3回	老化・加齢の理論①				老化・加齢に関する生物学的、心理学的、社会学的理論や、その活用方法について学ぶ。				小松	講義	
4回	老化・加齢の理論②				老化・加齢に関する諸理論の臨地における活用方法について発表し、理論を用いた老年看護のあり方について考察する。				小松	演習	
5回	高齢者保健医療福祉制度の変遷・現状				高齢者に関わる保健・医療・福祉制度の変遷や、高齢者保健医療福祉制度の現状と今後の課題について学ぶ。				小松	講義	
6回	高齢者看護における倫理的課題				エイジズムなど高齢者の倫理に関わる考え方や、高齢者虐待の類型、高齢者虐待の現状と今後の課題について学ぶ。				小松	講義	
7回	高齢者のニード				高齢者の社会的役割、高齢者にとっての自尊感情の意味、高齢者が人生を統合していくことの意味について考察する。				小松	演習	
8回	高齢者の栄養と嚥下障害				高齢者の栄養状態の評価方法や、高齢者にとって有効な嚥下リハビリテーションについて学ぶ。				小松	講義	
9回	高齢者の睡眠とサーカディアンリズム				高齢者の睡眠の特徴や、加齢に伴うサーカディアンリズムの変化と生活への影響について学ぶ。				小松	講義	
10回	高齢者のメンタルヘルス				加齢に伴う精神面への影響や、高齢者に対するメンタルヘルスの特徴について考察する。				小松	演習	
11回	高齢者にとっての生活環境の変化				高齢者にとってrelocationとはどのような体験か、relocationする高齢者への看護について学ぶ。				小松	講義	
12回	高齢者と家族看護				家族看護に関する理論・モデルや、高齢者を介護する家族の現状、家族へのサポートシステムと今後の課題について学ぶ。				小松	講義	
13回	高齢者と家族へのケアマネジメント				老年看護におけるケアマネジメントや、ストレングスモデルの活用方法について考察する。				小松	演習	
14回	老年看護の専門性				高齢者に対する看護の役割や、多職種連携と看護の独自性について、自己の考えをプレゼンテーションする。				小松	演習	
15回	老年看護に関する研究の動向				高齢者に関わる研究の動向や、老年看護に関する研究の方向性について学ぶ。				小松	講義	